

# 議 事 録

作成者:コーディネーター仲村 千秋

|                          |  |     |                 |      |                  |  |
|--------------------------|--|-----|-----------------|------|------------------|--|
| 件 名                      | 第1回北中城村グッジョブ地域連携協議会  |     |                 |      |                  |  |
| 年月日                      | 平成28年6月1日（水）14：00～   | 場 所 | 北中城村中央公民館 2階研修室 |      |                  |  |
| 出席者<br>(順不<br>同/<br>敬称略) | <p>北中城村 副村長 比嘉聰 様<br/>                 村議会 建設文教委員長 天久朝誠 様<br/>                 教育委員会 教育長 森田孟則／教育総務課 課長 喜納克彦／係長 新垣理衣子／指導主事 伊波寛仁／教育委員会 生涯学習課 課長 名幸芳徳<br/>                 島袋小学校 校長 新里誠<br/>                 北中城小学校 教頭 山城勝美<br/>                 北中城中学校 校長 照喜名朝盛<br/>                 村商工会 会長 安里邦夫<br/>                 中小企業家同友会 中部支部 北中城村担当 與崎文美<br/>                 中小企業家同友会 阿嘉久美子<br/>                 北中城高等学校 教頭 桃原健次<br/>                 企画振興課 課長 石渡一義／係長 棚原昌也<br/>                 (株) ケイオーパートナーズ 代表取締役 富田治敏／取締役 喜屋武裕江／ゼネラルマネージャー 贄尚子／マネージャー 今野幸代／チーフ 伊波直哉／コーディネーター 喜友名香帆／コーディネーター 高里彰吾／コーディネーター 仲村千秋</p> <p>※オブザーバー<br/>                 北中城村父母教師会連合会 会長 名幸利積<br/>                 北中城村雇用サポートセンター 就職支援相談員 古波蔵丈久<br/>                 沖縄県就職・生活支援パーソナルサポートセンター 濱里正史様／安里学子様／宮國香織様</p> |     |                 |      | 配<br>付<br>資<br>料 | <p>【配布物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式次第</li> <li>・参加者名簿、座席表</li> <li>・資料 1-北中城村グッジョブ連携推進事業について</li> <li>・資料 2-平成 27 年度第 3 回北中城村グッジョブ地域連携協議会議事録</li> </ul> |
| 協議・確認事項                  |  |     |                 | 質疑応答 |                  |  |
| 高里コーディネーター               | <p>本日司会を担当いたします、ケイオーパートナーズ・コーディネーターの高里と申します。初めてお会いする方も、いらっしゃると思いますが、携わっていきますので、今後よろしく願いいたします。</p> <p>まずお手元の配布資料の確認をお願いいたします。</p> <p>配布資料は、上から「式次第、参加者名簿・座席表が両面 1 枚となっております。次に資料 1 として平成 27 年度 第 3 回北中城村グッジョブ地域連携協議会議事録。資料 2 と</p>  |     |                 |      |                  |  |

|                  |  |  |
|------------------|--|--|
| <p>副コーディネーター</p> | <p>して平成 28 年度 北中城村グッジョブ連携推進事業今年度の取り組み」の冊子をご用意しております。</p> <p>お手元の資料で、不足している方はいらっしゃいますでしょうか？よろしければ、このまま式を始めたいと思います。</p> <p>続いて本日、ご出席戴きました皆様の紹介をおこないたいと思います。今年度より、新たに加わった方もいらっしゃいますので、司会の方で紹介をさせていただきます。</p> <p>今回、会長の代理としまして副村長の比嘉様にご出席いただいております。</p> <p>続いて、比嘉様から右手の順に紹介させていただきます。</p> <p>&lt;北中城村教育委委員会 教育長の森田孟則様→北中城村教育委委員会 課長 喜納克彦様→北中城村教育委委員会 係長 新垣理衣子様→北中城村教育委委員会 生涯学習課 課長 名幸芳徳様→北中城村教育委委員会 教育総務課 指導主事 伊波寛仁様→島袋小学校 校長 新里誠様&gt;</p> <p>その隣は、まだおこしになっていらっしゃらないのですが、北中城小学校 教頭の山城勝美様がいらっしゃる予定になっています。</p> <p>&lt;北中城中学校 校長 照喜名朝盛様&gt;</p> <p>そして今年度の実施校といたしまして、オブザーバーとしてご参加いただいております、北中城高等学校 教頭の桃原健次様。</p> <p>続いて、会長代理比嘉様の左から紹介させていただきます。</p> <p>&lt;北中城村議会 建設文教委員長 天久朝誠様→北中城村企画振興課 課長石渡一義様→北中城村企画振興課 係長棚原昌也様→北中城村商工会 会長安里邦夫様→中小企業家同友会 中部支部 北中城村担当 與崎文美様→中小企業家同友会 中部支部 阿嘉久美子様→ケイオーパートナーズ代表取締役の富田治敏→同ゼネラルマネジャー 贅尚子→マネージャー今野幸代→チーフ伊波直哉→コーディネーター喜友名香帆→仲村千秋&gt;</p> <p>そして私、司会の高里彰吾と申します。</p> <p>そしてオブザーバーの今回参加して頂いています、北中城村父母教師会連合会 会長の名幸利積さまは、ご出席いただいておりますがご紹介しました。</p> <p>&lt;北中城村雇用サポートセンター 就職支援相談員 古波蔵丈久様→沖縄県就職・生活支援パーソナルサポートセンター 濱里様→同 安里<sup>たかこ</sup>学子様→同 宮國香織様&gt;</p> <p>以上、本日 18 名にて進めさせて戴きます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは式次第 3 番目になります。委嘱上の交付をおこないます。時間の関係もござ</p> |  |
|------------------|--|--|

|                  |   |  |
|------------------|---|--|
|                  | <p>いますので、今回は、代表で安里邦夫さまに委嘱いたします。他の皆様には、資料といっしょに委嘱書を配布しておりますのでご確認ください。</p> <p>それでは比嘉様、前の方にお越し下さい。</p> <p>&lt;交付式&gt;</p>  |  |
| <p>副コーディネーター</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>では、式次第、4番目に移りたいと思います。会長挨拶、本日は新垣会長に代わりまして比嘉副村長が、会長代理としておこないます。よろしく願いいたします。</p>   |  |
| <p>比嘉副村長</p>     | <p>皆さん、こんにちは。副村長の比嘉と申します。本日は、村長が都合がつきませんでしたので、私の方でご挨拶を申し上げたいと思います。</p> <p>本日は、評議会委員の皆様方には、ご多忙中の折、ご出席いただきましてありがとうございます。北中城村グッジョブ連絡協議会は、平成24年からスタートしまして今年で、5年目を迎え協議会活動も節目に当たる17事業になります。この4年間の活動におきましては、多くの企業や関係団体・各学校が連携して小学生のジョブシャドウウィングやチャレンジジョブ、中学生の校内ハローワークや職場体験の実施を終え。昨年度からは、新たにスタートする高等学校での出前フォーラムや、高校生版テクニカルビジットを実施し、将来の人材育成に成果を上げております。今年度も次のステップに繋げていけるように本日おこしの皆様と連携し、引き続き協議会活動へのご協力を賜りますようお願いいたします。本日は、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。宜しくお願いいたします。</p> |  |
| <p>副コーディネーター</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>本日、新垣会長に代わりました、比嘉副村長は中座されるとのことになりますので、こちらで中座されます。</p> <p>それでは協議に入りたいと思います。ここより進行は本協議会 天久朝誠副会長がおこないます。よろしく願いいたします。</p>  |  |
| <p>天久副会長</p>     | <p>皆様こんにちは。私は、1年前からこの協議会に参加させていただいております。前回は副会長ということで携わらせて戴きましたが、今回初めて村長が不在ということでお仕事が回ってきました。よろしくお願いします。</p> <p>まず、地域連携型キャリア教育の重要性と今年度取り組みについて、ケイオーパートナーズさんの方から説明とご報告の方をよろしくお願いします。</p>  |  |

|       |  |  |
|-------|--|--|
| 伊波チーフ | <p>皆様、改めましてこんにちは。</p> <p>本日、受託・運営をさせて戴いております、株式会社ケイオーパートナーズの伊波と申します。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>私の方からは、地域連携型キャリア教育の重要性との事ですが、今年度初めての方もいらっしゃいますので、改めて本事業の生まれた背景等を説明させて戴きます。本協議会に関しましては、沖縄県の推進する「みんなでグッジョブ運動」の一環として平成 24 年度よりスタートしております。「みんなでグッジョブ運動」はご存知かと思いますが、沖縄県の雇用情勢を背景に平成 19 年度からスタートした県民運動です。沖縄がおかれている雇用問題が、今だけの問題でなく未来を支える子供達にも働く夢を広げていくには県民一人一人が、どうしたらいいのか？を考え県民一丸となって取り組んでいこうというのが、この県民運動となっています。もう少し説明しますと、沖縄県は戦後、復帰後 40 数年完全失業率が、全国ワースト 1 位を続けています。この様な沖縄県の完全失業率をどうにか全国並みに改善し、経済の活性化、自立した豊かな社会の実現、将来を担う子供たちの夢と希望をみんなが生きがいを持って暮らす、これが「みんなでグッジョブ運動」の目標です。</p> <p>沖縄県の雇用の流れは、3つあげられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、雇用の場の不足</li> <li>2、求人と求職のミスマッチ</li> <li>3、若年者を取り巻く厳しい環境</li> </ol> <p>産業と雇用の立体的な施策が必要だと言われており、又、県民各主体が共通認識を持ち、同じ方向性に向かって連携を図ることが必要だと言われています。</p> <p>若年者の労働市場の環境の改善という部分で、その解決に向かう行政・企業・地域等・各関係機関が、連携することが課題解決に不可欠だといわれております。</p> <p>先ほども、お伝えしましたが、若年者の厳しい環境について説明します。</p> <p>若年者の自立化の状況についてのグラフの方がございますが、こちらの方は、世帯主と続柄別の完全失業率を表したものになっています。グラフで見にくくなっていますが、左から 2 番目と 3 番目こちらは世帯主と配偶者になっています。こちらは、完全失業率は、全国に比べて差はございませんが、右から 2 番目のその他の家族という部分が、吐出して高くなっています。全国に比べて 4%も高い状況が推移しています。こちらの方は、扶養されているものという部分で、親と同居し、生活を親に面倒みてもらっている若い世代が沖縄県の場合は、多いといわれております。</p> <p>実際、高校卒業後の進路状況をみますと大学や専門学校への進学、又就職やアルバイト等、高校卒業する時点で就職が何も決まっていない。進路が何も決まっていない。が、全国の 5.8 パーセントに対して、沖縄県は 2 倍以上の 12.1 パーセントの数値です。</p> |  |
|-------|--|--|

|       |  |
|-------|--|
| 伊波チーフ | <p>この数値は、高校の部分の数値ですが、中学卒業の部分に関しましては、沖縄県の場合は、5パーセントの数値になっており、全国でも高いクラスになっています。</p> <p>さらにせっかく就職しても、離職してしまう率も非常に高くなっています。1年目で離職してしまう率が、高校卒業で29.2パーセント、大学卒業で21.2パーセント。3年以内になりますと、高校卒業で5割以上、大学卒業でも、5割近くになっています。</p> <p>このような状況から、平成25年には沖縄県のニート数が、1万5千人を超えたといわれています。ニートといわれますと少し暗いイメージを持たれると思いますが、沖縄県のニートは明るく太陽の下を大手を振って歩いていると皮肉られて、自分たちがニートだと思っていない人たちが多いといわれています。</p> <p>その背景としましては、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあさん世代が、「あなたの嫁が見つかるまで応援するよ。」ですとか。「頑張って公務員試験受けなさい。」とか子供たちに伝えることで、子供たちが生活するために携帯電話を買ってあげたり、車を買ってあげたりという部分が見えています。そういうことをふまえて、子供達も、夢が見つかるまで「親に面倒みてもらおうかな？」とか、「仕事大変だったら、辞めて違う道を探せばいい。」と安易な考えが生まれているというのが、現状です。</p> <p>そういったことが、ニートを生み出す背景にあり、若年者が、仕事に対するネガティブなイメージといわれております。このことが働くことへの意識の希薄化。更に就業意識を失うことへの悪循環を起こしているといわれています。</p> <p>このような解決には、幼いころから働くことへの関心・憧れを高めるための必要があり、その前提として地域連携型キャリア教育が持ち入れられています。ここで言われている地域連携型キャリア教育というのは、地域の産学官が、今回の様に一同に対し、地域の特性や課題に合わせ熟議を交わしていく、更には産業界からは、雇用の現状、求める人材等の育成に向けた情報の課題を上げてもらう。又、教育機関からは、子供たちの様子や学校が支援してほしい内容等を伝えてもらいます。又、地域コミュニティという部分では、地域の実情や、地域を支える人物像等を伝えてもらいながら、行政として地域の目指す方向性や様々な情報を提供してもらいながら、会議を進めていきます。</p> <p>そしてその地域にあった、早期からの人材育成について取り組んでいきます。それが、「地域連携型キャリア教育」といわれております。</p> <p>北中城村について説明します。北中城村では、「平和で人と緑が輝く健康長寿と文化の村」と共通の未来像に向けて先日の総合戦略方でもありましたが、仕事の項目で謳われている3本の柱をふまえて、村の農産物のブランド化、健康長寿を象徴する医療福祉の充実、イオンライカム店や、大型クルーズ船の寄港による観光推進等これらをふまえて、地元で誇りを持ち国際的な視野で行動できるグローバルな感覚を持つ人材が必要であると</p> |
|-------|--|

|       |   |  |
|-------|---|--|
| 伊波チーフ | <p>昨年度より、村独自の本事業が始まっています。</p> <p>その為にこちらの皆様に集まって戴き、未来の北中城村を担う人材育成について協議を行ってまいりました。</p> <p>昨年度は、本事業の初年度ということで、北中城村型キャリア教育の確立に向けて模索してまいりましたが、2年目は更にブラッシュアップをしていきたいと考えています。小学生には、働くことに興味関心を持たせ夢や希望を育む為の取り組み。中学生には、幅広い仕事に触れさせ、自己理解と職業観を高めるきっかけを作り。高校生には、具体的な進路決定に向けて自分が身につけるべき力とは何か？そして国際的な視野を養う為の取り組みを行なう等、発達段階に合わせたキャリア教育の視点を組み併せて取り組んでまいります。</p> <p>更に村が行っている英語教育の推進や、国際的な人材育成に繋がられるよう産業理解システム強化、村を支える人材育成に繋げる取り組みを本事業で行ってまいります。</p> <p>本事業で子供たちには、働くとは何か？、将来の自分自身や、社会について考える。機会を持たせます。そうすることで、社会と学習が繋がる。普段の挨拶や、整理整頓がなぜ大切なのか？、普段子供たちに言われていることを実際の社会を通して目上の人には挨拶をする。整理整頓が、できないと仕事に支障がでる。簡単な読み書きができないと文章や書類が作れない。等、今自分たちが学んでいる事が、実社会と繋がっている事を気付くことによって社会と学校と繋がる。それにより、意識の変化を起し、日々の学習意欲が高まると考えています。</p> <p>又、企業・学校双方のメリットとしてキャリア教育に参加することが、子供に関わることで憧れの大人になること。それが「教育が他人ごとにならない」部分が大きくあると思います。この様な取り組みは、学校だけではなく、企業や地域にとっても様々なメリットを生むと考えられています。</p> <p>地域連携型キャリア教育を行う目的は、地域の人材が地域を支える仕組みの構築を目指していること。地域の様々な団体や関係者が連携することで地域の子供たちが、地域に貢献できる人材に育てる。又、地域を理解し、北中城村、沖縄県民としてのアイデンティティを育むこと。村の内外、特に外に目を向けさせてチャレンジ精神に支援していくこと。これからの産業を支えていく人材を育成することをおこなっていきます。更に地域に支えられながら、生まれ育った子供たちが小・中・高・大と成長し、いずれ地域の大人の輪の中に加わった時、今度は自分たちで後輩たちを育てていく。支えられる側から、支える側へ移行することで、次の世代へバトンを繋いでいく人材還流を起し、長期的・継続的な雇用問題の解決。地域発展に繋げていくことが最善の目的です。</p> <p>地域連携の取り組みを行うことで、子供たちが未来の北中城村を支える人材の成長にすることで観光の魅力が溢れ、産業が豊かになり、健康で幸せな笑顔が溢れる村。先ほ</p> |  |
|-------|---|--|

どもありました、人と緑が輝く健康長寿と文化の村。北中城村の実現に繋がると信じています。是非今後も、地域一丸となる取り組みをこの協議会から発信できればと思っています。

今年度の取り組みについて具体的に、コーディネーターの喜友名からおこないます。

具体的な取り組みについてご説明します。

初めに小学生を対象としたジョブシャドウウィングを紹介します。北中城小学校は、7月5日火曜日、島袋小学校は、7月8日金曜日に実施します。村内の事業所でジョブシャドウウィングを行うことで働く人の思いや、仕事に取り組む姿勢を観察し、職業観・就業間を育むと共に将来の夢や目標の為に、今何をすべきか？を意識させ、これからの将来を考える為のきっかけづくりとしています。併せて、ジョブシャドウウィング実施以外にも前後にフォロー学習や職業人講話を行うことで、取り組みの効果を高め、学びの定着を図ります。今年度は、特に村内の農業・IT関連の企業開拓に力を入れました。又、イオンモールライカム店を村内より受け入れをご協力戴いています。

続いて中学生を対象とした、取り組みについて紹介いたします。昨年度と同様に2年生がおこなう職場体験の支援をおこないます。職場体験をおこなうことで、主体的な進路選択を意識させるきっかけを作ります。その為に学校の学びが、社会と繋がっていることに気付いてもらえるよう、事前学習でマナー学習の実施や、職業人講話をおこないます。又、事前事後学習の実施内容を共に構築する等の支援をおこなっています。

北中城村型キャリア教育では、小学校6年生でジョブシャドウウィング、中学校2年生で職場体験が設定されていますが、間の中学校1年生に対しては、村内の産業を理解させるための職業人講話、校内ハローワークを実施します。例えば、観光と医療が合わさった医療ツーリズムや、農作物を市場に運ぶための物流産業等がある様に一点、関係の無い見える産業や職業が繋がっている事。互いに支えあっている事を事前学習で伝えることで、各産業を横断しての理解を深め、広い視野を持った進路選択へ繋げていきます。

高校生を対象とした取り組みについて紹介していきます。北中城高等学校1年生を対象にクロストーク形式で村内で働く北中城高等学校出身者、または北中城村出身者の話を聞くことで、将来の自分をイメージし、「なりたい自分」から「なれる自分」をより明確にさせ、具体的な進路に活かすと共に、高校3年間で何を学ぶべきかを自主的に考える機会となる取り組みをおこなっています。

これより、村内の産業理解を促すための取り組みについて紹介します。

1. 小学生向けの取り組み「ちゃれんじJOB」についてです。こちらは、私たちが、力を入れている取り組みの1つです。先ほどのジョブシャドウウィングが、学年全体

を対象としているのに対し、こちらは、学習への意欲、向上心のある児童を募集しておこない、未来の北中城を牽引していく力を育成するプログラムです。具体的には、村内事業所で生産、加工、販売体験をおこない、第一次産業から第三次産業について学び、横断的な産業理解について学びます。昨年度は、2日間で行われたプログラムですが、より学びを深める為に事前事後学習を充実させ体験学習の補完をしっかりとおこないます。その為に子供たちが、参加しやすい夏休み期間を中心に休みの日を利用しておこないます。又、未来の地域リーダーを育てる為にも、職場体験以外の様々な活動も視野に入れ、名称を「きたなかキッズ JOB クラブ」に改めて活動します。

2. 高校生を対象としたテクニカルビジットについてです。テクニカルビジットとは、企業や工場などの産業を視察する、「視察旅行の事」をいいます。こちらは、“トラベルマートきたぽ”と行っているイオンモールライカムの事業所視察を高校生版にアレンジした取り組みです。今年度は、将来北中城で働きたい、村に尽くしたい、貢献したいと思う、村内在住の高校生をはじめ近隣の高校に呼びかけ少人数で実施します。事前学習では、“トラベルマートきたぽ”の吉川さんを講師としてお招きし、海外からも観光客が訪れる商業施設で働いている方から、世界に共通する社会人術や、グローバルな視点についても伝えてもらいます。この後、普段訪れている商業施設のバックヤードを見ることでここで働く人や、ターゲットなどに込めた思いを感じてもらおうツアーをおこないます。

以上が今年度の取り組みとなっています。

この様に現在すでに実施した取り組みについて報告します。

北中城小学校について

こちらの写真は、北中城小学校で5月10日に行われたジョブシャドウウィングの事前学習の様子です。ジョブシャドウウィングに向けて「働くとは？」についての事前学習を行いました。企業の目的は、働くということについて考え、生活の中で働く人や、仕事について意識を持つことでした。普段は発言が、控えめな児童が、率先して挙手や発言をしていたとのことでジョブシャドウウィングについて前向きな気持ちを持っていることが、感じられました。又、北中城村の有名なものをあげる時には、中城城跡や、イオンモールライカムだけではなく、マスコットキャラクターや、村出身の芸人等、真摯に興味を持っている事を知りました。

続いて、島袋小学校で、5月22日に行われた事前学習の様子です。

日曜参観を利用して、事前学習を行いました。児童は、当初、日曜参観の雰囲気、落ちつかない様子でしたが、導入部分での学習の目的や、ジョブシャドウウィングの内容を理解し、講師の問いかけに、きちんと答えを考え、挙手発言が、増えてったと感じま



|       |   |  |
|-------|---|--|
|       | <p>した。何故、働くかを考えインタビューを行うワークでは、授業参観のため来校した保護者へのご協力を依頼しました。このワークの際、特に父母は興味を持ち担任教師や保護者が、率先して行っていました。</p> <p>続きまして、中学校で5月24日に職場体験の事前学習として、マナー学習を行いました。マナーとは、思いやりの気持ちプラス行動ということを理解することを目標としました。生徒に、身近なところでも、マナーが問われるということを実感してもらうために、ロールプレイを行いました。主に、挨拶とお辞儀の2つを、重点的に行い、ペアで練習する際には、お互いに注意し合う生徒も、見かけられました。また、ワークシートに記入すべき箇所では、真剣に講師の言葉を、書き込んでいる姿が、見られました。</p> <p>最後に、北中城高校全学年を対象とした、5月17日に行われたキャリア教育講話の様子です。沖縄県の雇用問題から、企業の学びとして、就職活動生への電話対応などの事例を紹介する場面では、自分自身の態度を振り返り、笑いと共に、真剣な表情を見せていました。講演中に、ワークシートに積極的に、記入する姿が、印象的でした。講師の問いかけは、生徒自身に対することが多く、ワークシートに記入する時間が、生徒自身のことを考える時間になりました。</p> <p>今年度の取り組みについては、お手元の資料2にも記載していますので、後程ご覧ください。以上、5月迄の取り組みについてのご報告です。</p> <p>今週末には、北中城小学校で、中部徳洲会病院の看護師の方をお呼びして、講話を行います。6月以降の実施に関しては、次回の協議会にて、ご報告いたします。以上です。ありがとうございました。</p> |  |
| 天久副会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>只今、報告と今年度の取り組み等ご報告いただきました。また、前年度メンバーと違いますので、どういった協議会であるか文言とか目標があったんですが、そういった部分も含めて、今年度受け入れされる学校であったり、そして、前年度受け入れてどうだったかという報告、意見だったりを、色々、皆さんの方にお伺いしていきたいです。進行の方は、ケイオーパートナーズさんの方でよろしく願います。</p>  |  |
| 伊波チーフ | <p>ありがとうございます。</p> <p>こちらのほうからは、私の方で、引き取らせていただきます。改めまして、ケイオーパートナーの伊波です。よろしく願い致します。</p> <p>昨年度から、参加している私より、喜友名の方が落ちついて、説明も聞きやすかったと思うので、私の部分が、早口で、わかりづらかったなあとという部分がありましたら、喜友名の説明した、今年度の取り組みの部分でも、構いませんし、この事業、そもそも</p>   |  |

|       |   |  |
|-------|---|--|
|       | <p>の目的ですとか、どういう取り組みを今まで行ってきたかという部分もですね、何かございましたら、ご意見、ご感想、また、ご質問等、お願いいたします。</p> <p>では、質問もなかなか出ないようですので、私の方で、進めさせていただきたいと思いますが、まず、せっかくですので、今年度、実施を予定しております各学校さんの方から、今年度の児童生徒の様子ですとか、本事業の取り組みに対する思いですとか期待、また、ご不明な点やご質問等がありましたら、ぜひ、お願いしたいなと思います。一言づつ、いただきたいと思います。まず、島袋小学校の新里校長先生から、お願いしてもよろしいでしょうか？</p>   |  |
| 新里校長  | <p>島袋小学校、新里です。今年も、また、よろしくお願いいたします。お世話になります。</p> <p>子供たち、6年生になってですね、学校の係、放送係とか保険係など、学校を安全に楽しく過ごすための係活動があるんですがそれを割り当てられてですね、意気揚々と、下級生を守りながら、高学年としての意識が高まって、はつらつと、2ヶ月過ごしております。</p> <p>ジョブシャドウイングのほうはケイオーパートナーズさんのサポート、支援いただきまして、保護者向けに、職場への送り迎えのお願いを、今しております。保護者も集まっていて、最初の方は、ケイオーパートナーズさんご紹介の、皆さんのおかげで、整ってきております。これから、1年かけてですね、将来の夢へ向かって、一歩ずつ、進んでいくということです。いろんなマナーを、時間をかけて、教えていくことになってます。どうぞ、よろしくお願い致します。</p> |  |
| 伊波チーフ | <p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、中学校の照喜名校長先生の方から、お願いしてもよろしいでしょうか？</p>  |  |
| 照喜名校長 | <p>はい、こんにちは。中学校の照喜名です。</p> <p>中学校は、一年生は先程有りました校内ハローワーク、二年生がですね、いよいよ、職場体験ということで、3日間予定をしております。それぞれ、皆様の職場の方へ、うちの子供たちが、将来の仕事、夢実現のために、いろいろと勉強に参ります。その前に、また、ケイオーパートナーさんの方からですね、マナー講習会を、5月に行っております。先週は、また、職業人講話ですね、講話を、立て続けに、一週、二週と、ということで、二年生に向けての、講話を、やっていただきました。</p> <p>卒業までの3年間で、ほんとに自分のやりたい仕事は何なのかな？ということも含めて、将来、自分の生き方についても、お話をさせていただいております。その後から、</p>   |  |

|       |  |  |
|-------|--|--|
|       | <p>高校へ、そしてまた、上へ進学ということで、一步一步、確実に、社会人になるというウォーミングアップの段階で、がんばっています。各関係者の皆様、ご協力、よろしくお願ひしたいと思います。以上です。ありがとうございました。</p>   |  |
| 伊波チーフ | <p>来て早々、申し訳ないですが、北中城小学校の山城教頭先生の方から、一言、6年生で行うジョブシャドウイングの部分で、何かお聞きになつてゐる部分ですとか、逆に、ご不明な点ですとか、この事業に対する期待等を、先生方からお聞きしておりますので、お願ひ致します。</p>   |  |
| 山城教頭  | <p>皆さん、こんにちは。遅れまして、大変申し訳ございません。別用で、かち合つてしまいました。</p> <p>本校では、6年生のほうで、職場見学ですか、ジョブシャドウというのを行つておられて、また、教育長にも、お願ひをして、児童に対する講話をしていただいております。総合的な学習の中で行つておりますので、年間を通して見通しをもつて、6学年の方で進めていると。それから、本校で、ドリームウォールというのがありますよね？私も、他市町村にいたので、話だけは聞いてはいたんですけども、全学年を通して、夢を育むというのですか、そういうキャリア教育を、学校全体でできたらなというふうを考えております。</p> <p>来たばかりで、いろいろとわからないことが、たくさんありますけれども、また、皆さんの力を借りて、本校の子供たちが夢大きく育むように、ご指導、ご支援をいただけたらと思います。よろしくお願ひいたします。</p> |  |
| 伊波チーフ | <p>ありがとうございました。</p> <p>急に、申し訳ございませんでした。続きまして、高校の方からも、来ておりますので、桃原教頭先生のほうから、一言、お願ひします。</p>   |  |
| 桃原教頭  | <p>こんにちは。北中城高校の桃原と申します。校長の方がですね、来客があつて、代理で参りました。</p> <p>北中城村とは、地域と連携していきたいということで、ご挨拶も4月に周つて、中学校の方にも周つてゐるところです。</p> <p>北中城村の出身の生徒はですね、本校に通つてゐるのは、130名位。3学年でなんですけど、130数名ですね、今、在籍しておられて2割弱位になるんですけども、先程も、ご紹介ありましたように、取り組みとしましては、5月の中旬になりますが、進路講話では、その日はですね、涼しい中で、喜屋武裕江さんの講演を、とても生徒達静かに聞いて</p>   |  |

て、私、実は、4月に来たばかりなんですけども、北中城高校にはですね、本当静かに聞いていました。講話を実施する高校は多いんですけども、こういったことは、職場作業になる就職試験の時には、言われてるんだよとか、一次内示の一次は電話の対応が、また実際二次ではその対応を、やり取りを、普段は面接とかやっぱり学校で練習しますので、そういったものはきちんとできんんですけども、家での電話対応はあまり、という状況がよく見られるこういったことが学校の普段の様子が就職、もちろん、仕事入ってからですけど、就職試験で見られるんだよっていうのをですね、話をしてもらって、感想を、ケイオーパートナーズさんのほうには感想が届いてるかと思うんですけども、「普段の生活が大切なんだなあ。」というのを実感しました。という感想を、とても、多くでていました。

高校は、子ども達は、今年度ありがたいことにですね、希望者が多くて、入れなかった生徒が多くいたんですけども、入学生ですね。希望して高校には、入ってきてるということはあるんですけども、入って、なかなか、目的意識、将来のことが、思い描けないという部分があって、普段の生活、集団授業をですね、取り組んでない部分があるんですけども、そのへんを1年生の時から、いかに、自分の将来のことを考えてやるかっていうのが、先程の説明の中に、喜友名さんの方からも、話にありましたけども、普段この自分のことを考えさせるかということだと思いますので、刺激を与えながら、小学校・中学校でもこの授業を通して刺激を与えこの刺激を受けた子たちが、本校に来ていただいたら、実績を残して、実績を残すことで、地域の子供たちも来てくれると思いますので、実績を残せるように、今、取り組んでいるところであります。

部活動もですね、学校自体も活気があり、部活動も自転車を中心に、昨日、月曜日ですね残念ながらバスケットとサッカーが、惜しくも、負けてしまってますね、最終に進めなかったんですけども部活を中心に盛り上げてるところです。今年もですね、この場に参加させていただいて、ありがたく思っております。

実際、現状をですね、先程のお話に明るいニート確かに子供たち明るいんですよ。高校生明るいんですけどもこの調子で、簡単にニートになってしまう。1年で離職が30パーセント、3年で55パーセント、恐ろしいなあと思っているんですけども。本当、こういったことが、起こらないような子ども達、直接、高卒で卒業して、就職するというのは30名、40名くらいですかね本校では、位ではあるんですけども高卒だけでもなくて、本人たち希望、現実と理想をですね、しっかり、理想はあるけれども、努力は伴わないというか、我慢ができないという部分があるので、その辺を知ってもらおうという、先程の中学生の授業からもですね高校生にもインターンシップっていうのも有りますけれども2年から、そのへんも見て貰いながら、十分進路について考えさせることが個々にできればと思っています。またこの中から情報、ケイオーパートナーズさんの方に努

|             |   |  |
|-------------|---|--|
|             | <p>力頂いて、子ども達に考えさせることができれば良いなと思っております。<br/>今後ともよろしく願います。</p> <p>伊波チーフ</p> <p>ありがとうございました。<br/>先生方のほうから何か、この授業に対するご質問等は大丈夫でしょうか？<br/>ありがとうございます。先程、島袋小学校の喜納先生のほうからもございましたが、企業開拓の部分に関しましては今年度もですね、商工会と中小企業同友会さんのほうにご協力頂きまして企業開拓のほう進めております。<br/>先程、お配りしました資料の2の12ページ～15ページのほうにですね、現在の受け入れ企業の状況を一覧にして載せております。もうすでに中学校のほうに関しましては57事業所の受け入れということで学校のほうで、生徒の組み合わせのほうお願いしているところがございます。島袋小学校に関しましても児童数に対しまして受け入れ企業数のほうが非常に多く集まりましたので、こちらのほうも今現在学校のほうで開拓を、生徒の組み合わせのほうをお願いしております。北中城小学校に関しましては児童のほうですね、125名に対して若干名メンターですね、受け入れ事業所のほうが少ないということで先週、あと数名なんです、今までお世話に成った企業さんにもう一度再アプローチさせて頂いて、良いお返事を頂いておりますので今週中には学校のほうにフィードバックできるかなと思っております。今現在このような形でさせて頂いております。今回も、中小企業家同友会さん、商工会の皆様の方にご協力頂いて進めておりますが、過去にもですね安里会長の方も、興崎様のほうも受け入れ企業としてのご協力も頂いておりますので、是非受け入れ企業の立場としてご意見やご感想のほうを頂ければと思います。また学校のほうへまたお願いですとか何かご質問等が有ればお願いしたいなと思います。</p> <p>安里会長</p> <p>安里会長のほうからお願いしてもよろしいでしょうか？</p> |  |
| <p>安里会長</p> | <p>皆さんこんにちは。<br/>商工会の会長、それから経営監査ということで企業の立場ですね、この事業を担当しております。<br/>これまで北中城小学校・島袋小学校のスタート時期からですね、ずっと1年1名あるいは2年2名ということで年1回あるいは年2回のスケジュールですね、受け入れております。6年生の皆さん、我々からすると育った環境時代が違いますので世代感覚と言いますかね、受け入れてみて実際に対面して、うちの会社は事業部が4つ5つ有つもんですから午前中そこを紹介してたまには現場ですね、建設現場、色んな現場に連れて行ってそれを見学させたりと いうふうなことでやっておりますが、先程事務長から有り</p>   |  |

ましたんでやはり先生方事前の学校の説明がとてもできておりますので、名刺等も綺麗にですね手作りで作ってそれから名刺交換等ですね、朝の挨拶から始まって礼儀正しく、それから質問事項も、学校のほうですね、ちゃんとこういった質問したらというふうなことで、事前に打ち合わせしているみたいでそのへん非常に受け入れから、それから最終の反省会っていうんですか、までしっかりそうですね両小学生おかげさまで、こなして終了して今年も、4月またスタートしますが、受け入れる予定であります。

商工会としても事務局ですね、案内が有りますから会員企業にもできるだけ受け入れるようにFax流したり、色々とPRしておりますが、飲食店とか製造業とかスーパーとか意外と人手が居て、それで体験できる場所は3名4名ということで現場で経験しながらやるんですが、今のところ課題は、他の事業所ですね、今事務長有りましたように輪を広げて頂いて、新しく受け入れる事業所をですね開拓できるように商工会、また新年度始まったばかりですから、このへんのまたジョブシャドウイングの説明会をですね、理事会役員の皆さん来て頂いてもうちょっとしっかり説明してアピールしていきたいなと思っております。

それから中学校・高校が今年から始まるということですので、弊社も職場体験受入れを検討して中学生の受け入れを6月の末に検討していたんですが、何にしても建設現場熱い中、色々工事している所の現場どういう形で中学生を何名か、案内できるかというふうに工夫してみました。事務局としてはまた6月決算までいけということちょっと時期的に厳しいかなというふうなことも有りましたですね、この時期の問題と、それ以降も埋まっているようですが、今後また建設現場でこの男子生徒達をですね、是非こう3日間案内できるような仕組みを建設現場の現場代理人とですね、すこししっかりと協議して何とか案内できるようにこのへん課題をすこしちょっと詰めていきたいということです。以上です。

伊波チーフ

ありがとうございました。  
與崎さんのほうから一言お願いします。

與崎

こんにちは。  
私のほうからは、企業の側としての意見ということなんですけれども、実際ですねこういった場に参加させく機会を頂いて、初めて教育の現場がこんなに大切にしている事業っていうんですかね、であるあつていうのを改めて認識するわけなんですよ。企業の側としては一応、お願いされてボランティアだからって意識のなかで子ども達を受け入れてるっていう、多分そういう現状じゃないかなと思うんですね。なんですけれども折角これだけ子ども達事前学習をしっかり行い、実は私達の会社に来てくれた時に

も今安里会長おっしゃっていたように 本当に礼儀正しい子ども達が来るんですね、そこで凄く感心してるんですけども、その限られた時間をどのように有効に使いそして何か持ち帰ることが有るような時間の使い方が出来るのかなっていう意識を持ちながら企業が、実際受け入れているのかなっていうところは実際は、例えば同友会の中でも受け入れた後に受け入れた企業からの意見を纏めるっていうことを実際していないんですね。なのでそこは今、「自分達の問題かな？」っていうふうに思っています。各企業が、「どのような工夫をしているのか？、どんな問題を感じているのか？」とかっていうのを今後は、そういう時間を作って纏めていくのが、私達側の課題ではないかというふうに感じています。

以上です。

新里校長

ちょっと言い忘れましたが、6年生がですね、ジョブシャドウイング終わってそれで中学生に進級するんですが、卒業の時期あるいは進級してから、そのうちの会社に来た生徒の皆さんから、「本当に職場体験して大変勉強になりました。」とそれから、私なんかと一緒に交流して「夢を持って頑張る。」というふうな激励を頂いたということですね、卒業前の年賀状などで「中学校に入ってもしっかりと夢に向かって頑張ります。」というふうな葉書を頂くんですね、私自信も嬉しいし、またこの事業っていうのはそういう形でそこで終わってしまうんだなああってやっぱり、各職場で体験したそういうふうなやはりお互いの気持ちがですね、生徒の皆さんにも、その事業やった時の思い出っていうんですかね。それがずっとこのへんに残って、それに期待に応えようっていうふうなことがやはり残って、それが一つの励ましになるのかなというふうで私達も非常に嬉しく思っております。そういうことも、一緒に有りますので一言付け加えたいと思います。

伊波チーフ

ありがとうございます。

先程、與崎さんのほうから有りました、各企業へのフィードバックっていう部分は、私達のほうも企業アンケートのほうを取っておりますので、できましたら勉強した形ですね、どういう内容を取ったら企業として効果が有るのかっていうのを踏まえて、今からまたアンケートのほうを最終練り直しをしようと思っております。是非そのへんもご検討頂けたらなと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

ちなみに今どういう事を受け入れたたとして、評価する指数と言いますか、どういう部分が取れたら良いな？という部分が有りますでしょうか？

與崎

こちらの評議員のほうにお願いをしていることではなくて、実際各企業がどのような受け入れ方をしているのか？とかですね。受け入れる場合にどんな仕事をさせているの

|       |   |  |
|-------|---|--|
| 伊波チーフ | <p>かとか。実際は気になるところなんですよ。</p> <p>だけど私達も、別の話し合いは企業同士でするんですけども、なかなかそこまでは話に時間が作れてないというのが現状なので、私達のほうの受け入れる責任としてそれも必要だし、そういうことをやらないと企業の側もまたステップアップができないのかって思っているところなんです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。他に何かご質問ご意見等ございますでしょうか？あの学校のほうからでも構いませんので受け入れ企業側のほうにご意見ご質問等ございましたら。</p> <p>是非、阿嘉さんのほうからもよろしく願いいたします。</p>   |  |
| 阿嘉    | <p>イースフードの阿嘉と申しますが、泡瀬の方でピザ屋のアントレを経営しております。</p> <p>5、6年前になると思うんですけども中学生の職場体験ということで、まず沖縄市のほうから、中学校から直接お話しを頂いたんですけども、受け入れまして、当初は一週間の期間が有りましてそれで受け入れをしてたんですね。</p> <p>今日、私が伺いましたのは学校サイドさんですか、市町村がこういうふうな取り組みをされているっていうのも正直分からなかったんですね、学校のほうが国の一環として学習の中に入れていっているからっていうふうにも解釈をした状態なんですけども、そういうふうなこういう集まりが有るっていうことを凄く心強いっていうんですかね、仕事をするっていうこと意識を持たすっていうことを皆で考えているということには気付きましたが、只、受け入れ側としましては年に4、5校受け入れるんですけども、ほんの3日間、それも10時～3時迄なんですとか。正直言って何も教育できないんですね、職場教育ができない様な状態で知人にも事業主がいて、ちょっとその話しをしたら「そうそう、うちも受け入れているよ、でもお客様よね。」っていうのが正直なところなんです。</p> <p>「3日間で特にカリキュラムを組む事も無くお願いします。」っていうことでやるものですから、こちら側も人様のお子様を預かるものですから、勿論頂いた資料には危険なことが出来ないっていうのは勿論有ります。それは私達も解釈しているんですけども、あまりにも「仕事ではなくて社会見学かな？」っていう感じが実際現場としては感じています。でもうちとしては職場体験なんで、3日間の中でも、「まず嫌なこと汚いことをまず入れよう。」ということで一番最初に汚い所のお掃除をやって貰って、2日目にはうちはピザ屋ですので生地を作る作業の一つを少しだけ、飲食業なんで衛生面が非常に大事ですから、その辺は気を付けながら触って貰って3日目は自分達でピザを作って貰っ</p> |  |



|       |  |
|-------|--|
| 伊波チーフ | <p>て食べてそれを持って帰って家で「感想を皆でお父さんお母さんとお話して。」っていう形を取っていますが、「はてっ、これでいいかな？」っていうのは、いつも帰した後で感じることです。学校さんとも私達、企業企業それぞれと反省とは非常に厳しくは思いますが、もう少し具体的な、スケジュールが必要かな？っていうふうに思っています。又、「先生方がよく巡回して下さるのでそれは凄く心強いですか安心して受け入れることができますので凄く良いと思っています。このへんは感謝します。ありがとうございます。」</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>受け入れ側の企業としましては、不安な部分も一杯あるかと思いますが、私達の方でジョブシャドウィングに関しましては、過去にも企業向けの説明会。またメンター向けですね、実際子供が観察する、大人の方向けの説明会というのを行って、どういうところを観察する。どういう部分を学ぶっていうのを企業のほうに伝えることによって、また企業側に対して「こういうふうな姿勢で取り組んで欲しい。」っていうことをお伝えしております。今年度もですね、日程調整中ではありますが6月の中旬位からジョブシャドウィングの合同説明会。また日程的に難しいっていう企業様には一軒一軒廻ってですね、説明させて頂きたいと思っております。</p> <p>昨年度迄は、中学校の職場体験に関しましては、学校のほうが、各事業所のほうにお願いという形であと生徒達が直接訪問して調整するっていうふうなことも、行っておりましたが、やはり教育的な効果っていうのを踏まえまして職場体験の受け入れ企業に関しまして、私達のほうで一度ご説明を 本年度から行いたいなって思って今計画しております。</p> <p>せっかくですので会場に皆さま一言ずつ頂きたいと思っておりますが、昨年度の3回目協議会の時にも有りましたが、産学官・地域が連携するっていう部分ですね保護者との連携っていうのも重要ではないかっていうふうな御意見ございました。</p> <p>今回ですねオブザーバーではございますが、村の父母教師会連合会の名幸会長のほうにも来て頂いておりますので、本事業に付いてのご感想とですね、保護者としてどのような関わりができるか、以前ジョブシャドウィングの送迎もされたというふうにもお聞きしておりますのでそのへんを是非、お聞かせ頂ければと思っております。急で申し訳ないんですが一言お願いできたらと思います。</p> |
| 名幸会長  | <p>急な御指名ありがとうございます。数年前にですね送迎をさせて頂きました。その時には県の取り組みの一環としての事業だったと思います。5年生か6年生だったと思うんですけど北小なんですけど、100名余りでしたので30~40名位の保護者の送迎を手伝っ</p>  |

たんですけど、その時にはこの事業が浸透してないせいかですね、村内近隣の市町村だけでは企業が間に合わなくてですね、遠くは那覇まで出かけて行ったということがありました。今ちょっと冊子を見てもと村内あるいは近隣の方々がですね、この事業を理解して頂いて、そこまでは遠くまでは行かなくて済むということができているようですのでそのへんは、「まあ保護者としてもですねありがたい。」と思います。今事業者の方が説明したようにですね、職種によってですね子ども達に手伝わせてですね、経験させて理解できる職種と危険度が増すのでなかなか子ども達に実際実践をして貰うというものができない職種と有ると思うので、そのへん子ども達が行く職種によって感じ方が大分差が出て来るのかな？という気がします。

それから私の個人的な意見ですけど「さっき北小の教頭先生がおっしゃっていました子ども達の将来の夢っていうの描きますよね、「プロ野球選手になりたいとか、サッカー選手になりたい。」とかいう大きな夢を語ります。だけでも実際は社会に出ていくとその通りにはいかないというのが殆どなので そのへんをこの事業でですね、子ども達に納得させるような事業に展開していくのかですね、社会のそういう厳しいものっていうのを感じさすのも良いでしょうし。それからあとはこれは個人的な意見ですけど就職先の一つにですね先生に成りたいという子ども達もいますよね。例えば北小の生徒が島小に出かけて行って先生の授業風景を勉強するとかですねそういうことも試してみたいかかでしょうかと思うんですけど。

以上です。

伊波チーフ

ありがとうございました。

先程、名幸会長さんのほうからもございましたが、夢を描かせるっていう部分で山城教頭先生のほうからありました。ドリームウォールですね、森田教育長のほうが最初というふうにもお聞きしておりますので、ぜひ始めた経緯ですとか、想いの部分を少しご説明頂けたらと思うんですがよろしいでしょうか？

森田教育長

失礼します。

このドリームウォールの前にですね、今日参会の皆さんのそれぞれの発言、お話し何ってですね。ホストの子ども達に対する愛情を非常に感じております。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

このドリームウォールですけれども、実はもう11年目を迎えております。取り組んだものの継続が「どうなるのかな？」っていう当時の心配御座いましたけれども、それぞれの職員、それから歴任の校長・教頭先生方はずっと繋げて頂いてですね、感謝の気持ちを持っております。11年前、最初はこの夢・希望調査をやったわけです。12月にやっ

たんですけれども、この将来の夢を持っている子ども達のパーセントがですね、もう今数字で言えないくらい非常に低い状態が有りました。職員全体で話し合っただけですね、何か仕掛けをして意図的にでもいいから、そういった関わりを持って夢を育てていきたいなっていう私からの提案をさせて頂きました。その結果として形としてと言ったら大袈裟ですが、このつくる段階からですね保護者の方に協力をして頂きました。こんな状況ですってというご報告をさせて頂いて実際に物を作って保護者の方々、大工をなさっている方々一杯いらっしゃいますが、協力して頂いてあの形で今、実になっております。

教育長室の小さなドリームウォールと同じようなのが、作ってあったんですね。その学校には色んなお客さんがいらっしゃいます。その皆さんにですね、子ども達に対してのメッセージ、こういった子どもに成って欲しいっていうお客さんのメッセージを掲げています。ドリームウォールも、全校生徒掲げていますけれども、特に6年生が卒業する際にはですね、裏のほうに保護者の方がこういった人間に成って欲しいっていうメッセージをですね、全員にメッセージとして書いて送っています。今年度も、それをタイムカプセルに入れておりましたら、中央公民館でもって成人式が開催されます。それを行うと小学校によってですねそのカプセルを開けて親子の対話を今年度は、見ることができています。

あと一つだけ話しをさせて頂いて下さい。昨年も、(協議会ご参加の)小学校2校からお話しございましたけれども、子ども達のこの事業によって大きな変容を見ることができました。それは学校現場の先生方が十分感じられていることだと思いますけれども。

やっぱり私達大人が関わった分だけ、子ども達が高ぶっていくんだなあっていうことですね。実感をしております。そういうことでお願いをしたわけですが、特にチャレンジジョブの取り組みでございまして、去年度、取り組んで今年度は、あと一つステップアップできる取り組みになれたらなって思っています。と申しますのはクリエイティブさんから事前の指導も非常に良かったです。それからお褒めの言葉を頂きましたけれども、チャレンジジョブに関してはですね、後一步子ども達が、「主体的に意欲的に手を上げてやってみたいなあ。」っていう意欲を持ってですね参加するような状況、事前の広報のことも掲げられておりますけれども、そのへんを一緒になって工夫しながらですね、子ども達に投げかけることができたらと思っています。2年前、本村は「関わり宣言」というのを掲げさせて頂きました。全ての大人が、子ども達と関わっていきましょうっていうことです。その合言葉が、「ワッターワラバーター」、「ワッター学校」です。それと本事業の合言葉にして、「また本年度取り組んでいけたらなあ。」と思っています。どうぞ本年度もよろしくお願いします。

教育長ありがとうございました。

|       |  |
|-------|--|
| 伊波チーフ | <p>チャレンジジョブに関しましては、昨年度、周知広報の部分が遅かったという部分も踏まえてですね、本年度はできるだけ早めの周知を各学校、また各自治体の子ども会等を通して募集を掛けていきたいなというふうに思っております。</p> <p>また内容に関しましても商工会の皆様ですとか、農水の皆様とまた連携しながらですね内容のほうも、詰めて昨年よりパワーアップした形で子ども達に関われないかな？と思っておりますし、昨年は詰め込み過ぎたといいますか、ギュッと2日間で体験までさせてしまったという部分も有るんですが、本年度はちょっと自分学習に余裕をゆとりを持ってですね、行うことで「子ども達もまた伸び伸びと色々発想も広がるのではないかな？」というふうに思っておりますし、また昨年度は祭りのほうで“城饅頭”さんで子ども達のアイデアを商品化して頂いたという部分も有りますので、今年度もその様な形で各企業様のほうにも色々お声がけさせて頂いて、アイデアを商品化できるようなまたは試作という形でできるような形がとれたらなあというふうにも考えております。</p> <p>祭りに関しましては教育委員会の皆さまのご協力も必要かなと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。ありがとうございました。</p> <p>先程ですね、安里会長のほうから6月決算のお話しが有って6月時期にはちょっと体験とか子ども達の受け入れが難しいっていう部分があったかと思いますが、各学校とも年間計画というのを立てる部分が有るかと思えます。そのへんに関してですね伊波先生のほうからちょっと年間計画をどのような形でいつ頃立てられるかとかいうのを話し頂ければと思うんですが、急で申し訳ないんですが。</p> |
| 伊波主事  | <p>年間計画のご質問があったので、学校の年間計画というのは手順っていうのは、実は県のほうから、県の年間計画が出てきます。それに基づきまして市町村の年間計画を立てていってですね、学校のほうは同時に次年度の年間計画のほうを立案しながら進めていってそれを突合せれる、付き合わせてバッティングしないようにですね計画を立てるという手順に成っています。この県の計画がですね、市町村に上がって来るのが大体12月末。学校現場にそれがですね出される1月辺りなのかなあと、確定していくのが2月末くらい遅いはずですけども、そういうスケジュールになっております。</p>   |
| 伊波チーフ | <p>ありがとうございました。</p> <p>この職場体験とかそれぞれの学校行事っていうのは、各学校が決めて年間計画に入れていくっていう形ですか？</p> <p>はい、そうですね。組み立て編集期の交渉に有りますので、学校長がですね各小学校</p>  |

|       |   |  |
|-------|---|--|
| 伊波主事  | と調整しながらですね、その年のまた大きな行事、中学校であれば体育祭なんか弊害が起きる場合が有りますので調整しながら計画を立てているんじゃないかなと思います。  |  |
| 伊波チーフ | <p>ありがとうございました。</p> <p>今、伊波先生のほうからご説明もあったように 2 月位には確定するっていう部分も有りますので、安里会長から頂きましたご意見のほうは中学校のほうにもですね、フィードバックさせて頂いて職場体験の時期等に付いても、又私達のほうでもちょっと学校のほうと相談していきたいなと思っております。</p> <p>(会場から質問) 7 月以降であれば大丈夫ということですね。分かりましたありがとうございます。</p> <p>それでは皆様から一言ずつ頂きたいなと思っておりますので、この事業の今年度の取り組みですとかまたご意見ご質問等それぞれお願いいたしたいなと思っております。</p> <p>先ず、喜納課長のほうからお伺いしてもよろしいでしょうか？</p>   |  |
| 喜納課長  | <p>少し気になったというか、受け入れる企業さんのほうからも体制であったりっていう説明があつたりしましたけど、阿嘉さんの方から、「3 日間ですよ。」っていう話がありました。「お客様みたいですね。」という言葉もありました。受け入れ企業さんを見てるとこれ皆さん経営者で判断してるっていうことがありますので、職種を勿論体験して貰うは勿論それで良いんですけど、もう一つ経営者の立場ですね「起業するにはどうしたら良いんだろうかとか？」そういうのを逆に教えたらどうかな？と思ったんですね。</p> <p>働くのは勿論働くんですけど使われるっていうのと起業するっていうのは少し違うと思うんですね。そういった起業する魅力を子ども達に教えて頂けたらもっと素晴らしいのかなと思って。</p> <p>よく子供たちは、漠然と「社長になりたい。」といいますよね。それを是非皆さん社長さんですので、どういったことを社長になるにはやったら良いのかっていう、こういったことも大変なんだよっていうのを教えてですね、是非子どもの夢を手助けしてあげればなということを思いますね。</p> <p>以上です。</p> |  |
| 伊波チーフ | <p>ありがとうございました。</p> <p>折角ですので今のご意見で與崎さんのほうからよろしいですか？</p>  |  |
| 與崎    | <p>そうですね、そんなふうなことを言って頂けると初めて私もこの活動を受けましたので、今回受け入れる場合にはそのへんをお話ししていきたいなと思います。</p>   |  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>阿嘉</p> <p>伊波チーフ</p> <p>新垣係長</p> <p>伊波チーフ</p> <p>名幸課長</p> | <p>やっぱりそういう意見を言って頂いたほうが良いと思うんですね。<br/>ありがとうございます。</p> <p>素晴らしいと思いました。凄く夢があるそれこそ夢があるなって感じました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>この事業に関しましても、そういう部分も子ども達に色んな夢を広げていく取り組みでもありますので、喜納課長のご意見も参考にしながら次年度以降ですね、どういう形でできるかというのをまた話し合っていきたいなって思っております。ありがとうございます。</p> <p>続きまして教育総務課の係長の新垣様のほうからも一言よろしいでしょうか。今回初めてのご参加だと思いますのでご感想等を頂ければと思います。</p> <p>すみません、では私のほうから少しこの会に付いての感想というかですね。</p> <p>私 4 月からこちら教育総務課に来ました。前職場は総務課だったんですけども、この「北中城村グッジョブ事業協議会」っていうのが有るのは知っていました。只、「どんなことやっているのか？」なっているのは思うんですけども、子ども達の職場体験なりジョブシャドウイングのこの場所を決めたりただそのくらいのものであるんだという、そういう気持ちだったんですけども、今日参加してみてですね、北中城村の子ども達の為に色んな沢山の方が集まって、色んな意見を出し合って話し合っている大切な場所に私参加してしまったんだなって思って今大変恐縮しています。</p> <p>只、こういう話し合いがされているなかで子ども達良いように育っていけば良いなと思って、今日は第三者的な感じで参加させて頂きました。これからもまたこの会の中で色んな意見が話されて子ども達に反映されれば良いなと思いました。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>生涯学習課の名幸課長のほうからもお願いいたします。</p> <p>前にも申し上げましたけれども、生涯学習課長兼、今北中城高校の PTA の進路指導部の部長ということで 3 年目を迎えております。</p> <p>子ども達もそうなんですけれども親御さん自体、子どもがどういうことしてるのかなっていうのは分かっているのは半分いるかな？という感じがします。高校のほうでも親向けの進路関係の講演とかですね、最近はちょっとやってないんでこれから取り入れてい</p> |  |
|---|---|--|

|       |  |  |
|-------|--|--|
| 伊波チーフ | <p>こうなかとは考えているんですけども、小・中辺りでもそのへん親が自分の子どもが将来何に成りたいのか分かるのかな？とかアンケートを取ってみてはどうかなっていうのもあります。そりあえず学校と連携しながら頑張っていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>ありがとうございました。貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>保護者にもアンケートの部分ですとか、子ども達の変化の部分っていうのも、家庭でしか分からない部分っていうのが非常に有るかと思いますので、私どもでも検討させて頂きたいなと思っております。</p> <p>他に皆様一言ずつお話しされたかと思いますが、ここまでで何か他にございますでしょうか？</p> <p>それでは伊波先生のほうからも是非ご感想等ございましたらお願いしたいなと思います。先程はご質問でしたので是非お願いします。</p>   |  |
| 伊波先生  | <p>私はですね、今日参加させて頂いて沖縄市のほうから 4 月、こちらのほうに赴任したんですけども、沖縄市でもこのグッジョブのほうですね有ります。</p> <p>今日参加しながらですね沖縄市との違いは何なんだろう？っていうところを見ながらこの北中城村地域っていうですね言葉が二文字入っている。うちらしいな、本村らしいなっていうですね地域と共に在るなって思うわけですね森田教育長のほうからもありましたけれども”ワッターワラバーター”っていう心をですね北中城の特色を表すこのグッジョブ地域連携協議会なのかなっていうふうに今感じております。</p> <p>今日、私来たのが大事なキーワードというのを出されたのかな、これは何かというと阿嘉社長の伺ってですね、何を企業側は受け入れ側は、視点をしながら受け入れて良いか分からないということは、実はこれですね全国のキョリア教育の論点となされているところです。学校側の全指導で子ども達にどういった視点で職場体験やるんだよっていうは事前指導しています実は。そこが何なのかっていうのは、実はこのキャリア教育の職場体験が始まった時のキーワードが有りまして、勤労観・職業観っていうこれを育てるっていうのが、キャリア教育のスタートでした。これ順番が有るんです。勤労観・職業観っていう順番はですね何かというと児童生徒、小学生達にはまずは勤労観、こうやって汗水流しながら働くって大事なんだよっていう、阿嘉社長がおっしゃった嫌な事、汚い事からさせるこれまさにピンポン、ずばりそこなのかなっていう部分を改めてですね。お聞きしながらそれを企業同士でそういった形で体験させたら子ども達が「あっ、自分はこうやってピザ屋さんで働いて一生懸命やった。」とこういうことが仕事で大事なんだな。と持ち帰って学校生活でやっぱり今やってる掃除大事なんだなとそういった感</p> |  |

想が出てきたら森田教育長がおっしゃった変化・成長ですね、学んだところなのかなっていうふう感じた次第です。

ですからこういったところですね是非、職業観のところであればピザ屋さんっていう飲食業で働く、そこで働く人達の遣り甲斐とかですね、職場的に厳しいところ厳しいから困難を乗り越えていくっていう遣り甲斐っていうことも有りますので、そういったところから学ぶとかですね、そこを職種を越えて視点を企業の皆様差し上げながらですね、それをまた子ども達の成長と擦り合わせながら、蓄積していくっていうそういうところも大事なかなっていう、勿論それもされているというふうには思いますけれども、とっても大事なかなっていう今日は、パワーアップしてるっていうところで大変、勉強になりました。

“可能性”というところで、今キーワードで社会に開かれた教育課程ですね。社会に開かれたという問題がキーワードになってますので、その職場体験は見学ですか？本当にもう小学校・中学校教育課程の中では本当に一番大事な学力向上推進の部分でもキャリア教育を通して学力向上推進っていうことが有るんですね。本村の構想でも大事な部分になってくると思いますので、是非皆さんのお力を頂きですね、一緒になってやって行ければっていうふうに思っております。今後共よろしくお願い致します。

ありがとうございました。

伊波チーフ 本日ですね、今まで以上にオブザーバーが、非常に参加が多くなっていますので一言ずつ是非頂けたらなと思っております。

急で申し訳ないんですが、古波蔵さんのほうから一言ずつよろしいでしょうか？

こんにちは。

古波蔵就職支援相談員 今日は初めてお会いする方もいらっしゃると思うんで、自己紹介からさせていただきます。役場の第一庁舎に設置しています北中城村雇用サポートセンターの就職支援相談員の古波蔵と申します。よろしくお願ひします。

幾つか気になる点があったのと、実はこの会は今年の3月から参加してその延長ではあるんですが、中学校の先生もいらっしゃるかな？。中学校の先生にお願いしたいことが有ったんですけど。先程明るいニートとかいう話が有りましたが、あのニートを作っているのは実は本人も含めて家庭なんですね。ぼくは実は中学2年の長女と小学6年の長男のお父さんですけども実はうちの長女ですね、今月か来月、北中では有りませんが、職場体験が有りますってうちの長女は将来の夢が小学校の先生っていう道が決まっていってうちの長女はどちらかというとなんか頭良くないですね。ところが部活動一生懸命。実は明後日から中頭地区の中体連に出るんですが、それに対してはベス



ト 4 から優勝目指して頑張るっていう話をしてしまして、授業態度が真面目で小学校 6 年間楷出席でして、中学校も 3 年間目指して、若干頭が弱くてもちょっと補えるのをそこでカバーして推薦を目指していけという話をしてですね。実は子どもからそういった相談をし、僕もそういうアドバイスをしたり色んなことをやるし、後また地域の子ども会の会長もやっているんですが、この子ども会に関わってくるお父さんお母さん方がいる家庭はですね凄く真面目な素直な方多いんですよ。なので先ず家庭からですね色々子どもに関わっていければそのニートにも繋がらない部分も有るし、今後の就職活動もですね色々親御さんを含めてできるんじゃないかな？とそれを含めて僕うちの中学生を対象にですね、実は 3 月にお話したんですが前回お話聞いた時には 6 月頃から第 1 回の進路のアンケートを取るということだったんで、そのアンケートを見ながら直ぐもう高校に進学しないという子は、可能な限りうちのほうにお越し頂いて、今後の将来を一緒に考えていきたいと思っています。

後、僕の同級生がですね、中卒で建設業の社長やっている者がいるんですが、それにも話をすると別に中学校卒業して 4 月 1 日以降であればアルバイトからできるので職場体験取りあえずやってみて「嫌だったら辞めればいいさ。」っていう具合の感じでも引き受けても良いついていう形で色々有るので、必ずしも決まった道は無いと思うのでそのお子さんに合った形の今後の仕事の見つけ方をここでやっていければなと思っていますし。

あとうちのほうで若年者・高齢者・障害者含めてですね、企業のほうに面接行く時に一緒に同行したりもします。正直大体僕が面接で同行行くと殆どの方が内定するのでできれば一緒に行ってですね、面接が苦手あるいは履歴書・職務経歴書が苦手な方ですねどんどんアドバイスをしてサポートしていきたいと思いますので、学校の先生方もですね、もし生徒さんが将来の道が決まってない何したら良いか分からない取りあえず学校行こうっていう子もいれば、学校も「どうしたら良いか分からない？」っていう子は一旦、僕のほうに預けても良いかな。と思いますのでそういうふうにどんどん遣って頂ければと思います。よろしくお願いします。

すみません、長々とありがとうございました。

ありがとうございました。

伊波チーフ 濱里さんのほうからも、一言ずつ 3 名から頂けたら頂けたらと思います。

濱里 改めまして、沖縄県の就職生活支援パーソナルサポートセンターというところの 3 人なんですけども、元々は北谷でグッジョブセンター、「ジョブサテライト」っていうのが有りまして、グッジョブこれ“県民運動”なんですよ、皆さんは子ども達と一緒に僕等

の場合は大人向けですね“グッジョブ運動”っていうところなんですけれども、今日来たのはこちらの2人は「生活困窮者自立支援制度」っていうのが去年から始まっているんですが、2つ今日は興味が有って来たんです。

お子さん達に直接言うのはおそらく皆さん方でやっていくことができるのかなあるんですが、おそらく中学卒業して進学せずに就職もせずにあるいは先程お話しありましたが、高校卒業して大学卒業してニート引きこもりではないけれどもっていうところが、これが全体的な取り組みだとなかなかうまくそういう人達を捕まえてですね、そうすると普通の就職支援とか生活支援ってなっていく、我々がサポートしていくってあれなんですけども、地域のレベルで連携してっていうことで上手く連携ができないかなあとということで、直接ではないんですけどグッジョブの地域連携っていうことを北中さんのほうがやっているっていうことなので、色んなところでそういうふんなことがあれば色々連携できる何がしかのきっかけとかそういうことがないかなあ？ということでオブザーバー参加をさせて頂きました。というのが1つです。

もう1つはこれはどういう形に成るか分からないんですがお子さん方親御さん達今、古波蔵さんですか？ご家庭の親御さんの話が出ましたけれども、良い親御さんばかりではなくて子ども達、職業観云々の話がありましたけれど、やはり親御さんがなかなかそういう形で子どもを育てきれていないっていうご家庭の場合には、親御さんの方のサポートも入れていながら、お子さんのこの勤労観を育てていくとか、進路とかそういうことをやっていくということをおそらく今後は必要になるだろうということで、実は全国的に言われていまして我々の事業では、地域作りに入っていくよっていうところも一つありますので、普段中部担当なので、北中さんでこういう集まりがあるということで参加させて頂いた次第です。今後、何か有りましたら個別でご相談になるかもしれませんのでよろしくお願い致します。

初めまして、私沖縄市の美原の事務所のほうで生活困窮者等の相談所の方を就職から遠い方ですね、引きこもりがちで直ぐには社会には出ることが難しいっていう方ですね、セミナーを2週間～大体4週間位ですね、セミナーに参加して頂いてコミュニケーションのスキルから先程色々お話しに出ていたように小学校からの挨拶とかですね、そういうのを学び直してっていう形でセミナーを大人バージョンでやっています。対象者が中学校卒業後、何処にも進路が決まっていない15～64歳までっていう幅広い年齢層を対象にしています。今回この参加、北中城村のグッジョブ地域連携協議会に参加させて頂いて「貴重な体験とか知識が色々学べたと感謝しています。ありがとうございます。」私達も、社会に入っていく方々っていうところで地域のまた北中城村の大人の方ですね、引きこもりの方も、数名居るっていうことをお聞きしているのでその方々が社会に出れ

宮國

|         |   |
|---------|---|
| 安里      | <p>るように職場体験とまた皆さんの力を借りながら「支援していきたいなあ。」と思っていますのでどうぞご協力宜しくお願い致します。</p> <p>今日はありがとうございました。</p> <p>初めまして就職支援パーソナルサポートセンター中部事務所から参りました。安里<sup>たかこ</sup>学子と申します。宜しくお願い致します。</p>   |
|         | <p>私達は沖縄県雇用政策課から事業を受託して就職支援を行っているところになります。那覇と中部のほうで2ヶ所、事務所があるんですけども、今日は中部北谷に在りますセンターから参りました。</p> <p>就職困難者の就職支援を行っておりまして先程、お話しがあったんですけども、やはり支援していく中で感じているところは、地域でやっぱ仕事をして地域で役に立っていきっていくことで、遣り甲斐とか生き甲斐とかを 社会でのつまづきとか色々な背景がありながらも、頑張っていこうとしている方達の支援を行っています。</p> <p>今回、北中城村でその地域の連携会議が有るということで参加させて頂き、私達も支援しながら、皆さんとご協力しながら、その対象者を自立に向けて支援していけたらと思っていますのでどうぞよろしく宜しくお願い致します。</p>   |
| 伊波チーフ   | <p>ありがとうございました。</p> <p>対象が違う部分はございますが、今後とも情報交換・意見交換等ができたらなと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。</p> <p>意見交換最後になりますが、弊社のほうからも、富田のほうから一言お願いします。</p>  |
| 富田代表取締役 | <p>皆さんお疲れさまです。今年もこの事業を担当していきます、ケイオーパートナーズ富田ですよろしく申し上げます。</p> <p>昨年27年度の最後の協議会の時にですね、非常に熱い皆さんの気持ちがあつてですね、「今年、また頑張らないといけないよね。」っていう話をうちの社員にしています。</p> <p>それとですね、うちの社員にいつもやっているのは、先程、伊波指導主事から話があったようにですね、実は我々沖縄県の地域のグッドジョブ協議会っていうのを約20ヶ所に創ってきました。それから自立していったところ、あるいはそのまま我々に移行したところっていうところがあるんですけども、先程あったように沖縄市とか実は支援はしてたんですけども、我々から外れていって今多分、沖縄市でやっていると思うんですけども、いつも社内と言うのはですね、「“チャンチャン” するような会議だったらやらないほうが良いよ。」っていうのを言ってます。あと、もう一つ言っているのは、「摩擦</p> |

を恐れるな。」「摩擦は進歩、積極のほうが良いよ。そういう摩擦をしながら、色々な話をして協議会で話をすることによって変わっていくんだよ。」とそれを恐れないでやって下さい。多分、うちのメンバーいつも、“ドキドキ”していると思うですけども、どんな言葉が出てくるんだろうと、それに回答することができるんだろうか？。多分心配はしてると思うんですけども、地域のことを考えている人達が集まっている会だから、そういうことは心配しないで堂々とやりなさいという話をしています。

今回も皆さんから色々な熱い意見また地域の連携が、また新たに沢山出てきているんじゃないのかなと思いますのでこの北中城村をですね、しっかり出来るよう頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

以上を持ちまして意見交換を終了したいと思います。  
進行のほうを天久副会長のほうにお返ししたいと思います。

伊波チーフ

天久副会長

皆さま貴重な御意見、さまざまな角度からの疑問であったりご指摘であったり、本当にありがとうございます。

この協議会はこのご意見の中にもあったようにですね、「夢を語れる」ある意味、目指す形に今成ってきているなと思っております。昨年、やはり皆さん緊張して1年前は、「どうしたら良いのかなあ？」という感じだったんですけど、どんどんですね、「来年もしようよ。ああしようよ。」っていう形で出てきました。今年度、形を少し加味してですね、こういったことをやりたいです。今、皆さまにご提案をさせて頂いています。

この流れがですね、森田教育長が、おっしゃってまして「11年前は夢があるをいうのをあまり繋がらないのじゃないかな？」って思ってらっしゃって、私も、「仕事というのはいつかやるだろう？」。当たり前に「大人に成ればやるもんだらう。」という感じですね捉えていた部分が有りますが、現代にはなかなかそうは行かなくて、明るいニートさんが増えていくよと、それだったら私達が対面で関わって行って、この北中城村の子ども達が将来、10年後・15年後に成るかもしれませんが、その時にですね他市町村の皆様と比べる時にこういった活動をしていてこうなりましたよっていう、その時が来るのを私は信じております。

お金も時間も掛かりますが、このキャリア教育非常に大事だなと思っております。この取り組みをですね、ぶつ切りではなくて毎年継続していけるシステムが、昨年から北中城高校さんも入って頂いて、形が縦のラインで出来つつあるなと思っております。それをまた私達大人が、見守りそして協力をしていくその活動の協議会とっておりますのでなんとか、1年間で会議は報告等含めて有ると思いますが、その際もですね、多くの皆さま関わって頂いてこの北中城村の子ども達一緒に育っていきたいと思っております

|                   |   |  |
|-------------------|---|--|
| <p>高麗コーディネーター</p> | <p>のでご協力の程をよろしく申し上げます。<br/> それでは意見交換のほうは終了させて頂きたいと思いますが、次は司会のほうで宜しくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。<br/> 次に閉式の挨拶を北中城村役場企画振興課 課長石渡一義をお願いいたします。</p>   |  |
| <p>石渡課長</p>       | <p>こんにちは。<br/> ちょっとすみません風邪をひいてしまって、一応事務局の立場として早く発注出来て良かったなど予算の確保も出来て良かったなどというのが、一番安堵しているところです。<br/> 実は、うちの事務局 4 月からクルーズ船の受け入れと、あと観光協会の設立でバタバタの状態に成っていました。<br/> 今何故こんなふうになっているかっていうと、国のほうです。ね個々の市町村でとにかく仕事を作ってですね、若い人達をそこに定住させたいということで、うちの村は平地も無いんで工場も立地出来ません、石油や石炭が有るわけでもないんで、やっぱり観光っていうものを使うんですね、新しい仕事を作ってって若い人達を定住させたいということで今企画のほうでは、クルーズ船対応と観光業界というものをやっていますので、目指すゴールは仕事に着く方の斡旋ということは一緒だと思いますので今後ともよろしく申し上げます。<br/> 今日は長い間皆さんお疲れさまでした。</p> |  |
| <p>高麗コーディネーター</p> | <p>ありがとうございました。<br/> これを持ちまして平成 28 年度第一回北中城村グッジョブ地域連携雇用協議会を終了致します。<br/> また本日参加して頂きました、就職生活支援パーソナルサポート支援センター様よりパンフレットのほうが、入口左手のほうにご用意しておりますのでどうぞお手にとってお帰り下さいませ。<br/> 本日は、お忙しい中ご参加下さいまして誠にありがとうございました。</p>  |  |